

道徳

第6学年

呉市立広南小学校

指導者 T1 酒井 早希

T2 山崎 聖子

主題名

せいじつに明るい心で

教材名

手品師 (東京書籍)

内容項目

A-2 『正直・誠実』

本単元で育成する資質・能力

思考・表現

協力・協働

1 令和5年9月11日(月) 第5校時

2 主題設定の理由

- 本学級の児童は、友だちと協力しながら何事にも前向きに取り組むことができ、明るく前向きに生活している児童が多い。4月からは最高学年として、一人一人が学校のきまりを意識して、下学年の良い手本になろうと真面目に行動する姿が見られている。しかしながら、自分の失敗や過ちについては、叱られることが嫌で、ごまかしたり、隠そうと嘘をついてしまったりする児童もいる。また、他者の評価を気にしすぎて自分の思いをもっている、堂々と表現できなかつたり、貫き通すことができなかつたりする児童が多い。

事前アンケートでは、「自分の気持ちに正直なことや、自分の気持ちに嘘をつかないことは大切だと思いますか」という質問に対して、86%の児童が肯定的な評価を行っている。しかし、「物事を決める時に迷ったら、自分の思いと相手の思いでは、どちらを大切にしますか」という質問に対して「自分の思いを大切にする」と答えた児童の割合が43%、「相手の思いを大切にする」と答えた児童の割合が57%であり、自分の気持ちに正直に行動するよりも相手のことを思いやって優先する児童が多いことが伺える。他の人の受け止めに過度に意識することなく、自分で悩んで決断したことに自信をもって誠実に生きようとする気持ちを高めるよう指導していきたい。

- 本主題は、小学校第5学年及び6学年の内容項目A-(2)「誠実に、明るい心で生活すること」をもとに設定したものである。児童が健康的で積極的に自分らしさを発揮できるようにするためには、自分の気持ちに偽りのないようにすることが求められる。自己の過ちを認め、改めていく素直さとともに、何事に対しても真面目に真心を込めて、明るく楽しい生活を心掛けようとする姿勢をもつことが大切である。

この段階においては、自分自身に対する誠実さがより一層求められる。他の人の受け止めに過度に意識することなく、自分自身に誠実に生きようとする気持ちを高め、自己を向上させることや自信につなげていく必要がある。

誠実とは、だれに対しても真心をもって真面目に向き合うこと、自分の良心に向き合い、自分自身の気持ちに偽りなく行動することであると考えられる。自信をもって自分らしく生きるためには、自分自身に誠実であり続けることが大切である。男の子との約束と友人からの誘いのどちらに対しても誠実に向き合い、迷いに迷って決断した手品師の思いを考えることで自分の良心に嘘偽りなく前向きに生きていこうとする姿勢をもたせることが重要である。

- 本教材は、腕は良いが売れない手品師が、夢であった大劇場に立てるチャンスを捨て、男の子と交わした約束を守ってたった一人に手品を披露するという話である。

指導に当たっては、導入で、学校生活で起こりそうな葛藤場面を提示し、意思表示させることで「決断に迷った時に、何を大切にしたらよいか」という本時のめあてにつなげていく。

展開前段では、手品師が迷いに迷った場面について考え、手品師に自己投影しながらどちらを選ぶかタブレットを活用し決断させる。互いの立場で意見交流することで、多面的・多角的に考えさせる。

また、友人からの誘いに対してすぐに返答することなく、葛藤しながら選択した手品師の行動から、友人にも男の子にも誠実に向き合っていることにも気付かせたい。さらに、中心発問では迷いに迷って男の子のもとへ行くことを決断した手品師が大切にしたい思いに迫り、自分の良心に従うことの良さについて考えさせ、誠実に明るい心で生活しようとする気持ちを高めたい。その際、書く活動を取り入れ、自分の考えをしっかりとらせ、ペアトークから全体交流へと広げ、児童が主体的に考え、議論しながらねらいとする道徳的価値に迫らせたい。

展開後段では、手品師の生き方から学んだことをもとに自分の生活について振り返らせる。また、道徳日記に普段の生活の出来事やその時の思いなどを記録させておくことで、学びが深まったことを児童が実感し、これからの生活に生かそうとする意欲へとつなげていきたい。

3 他の教育活動との関連

事前指導	<p>○縦割班活動「児童朝会」「縦割そうじ」</p> <p>自分のことだけでなく、学校全体のことを考え、下級生の気持ちに寄り添いながら実施計画を立てたり役割分担をしたりして、自分で決めたことに自信をもって取り組む。</p>
道徳科	<p>○「手品師」</p> <p>大劇場に行くか、男の子のもとへ行くか迷いに迷い、男の子のもとへ行くことを決断した手品師が大切にしたい思いを考えることを通して、自分自身に誠実に行動し、誠実に明るく生きていこうとする心情を育てる。</p>
事後指導	<p>○学校行事「修学旅行」</p> <p>集団の一員として、友達や見学施設の人を思いやりながらも、周りに流されることなく自分が正しいと思う行動をする。</p> <p>○総合的な学習の時間「輝け 自分の未来」</p> <p>自分の将来の夢を見つめ、自分が本当にしたいことやどのような生き方をしたいかを考え、明るく前向きに生きようとする意欲を高める。</p>

4 本時の学習

(1) 本時のねらい

大劇場に行くか、男の子のもとへ行くか迷いに迷い、男の子のもとへ行くことを決断した手品師が大切にしたい思いを考えるを通して、自分自身の良心に向き合い、誠実に行動し、明るく生きていこうとする心情を育てる。

(2) 学習の流れ

	学習活動	主な発問と予想される児童の心の動き (◎中心発問)	指導上の留意点(・) (☆評価の観点)
導入 (5分) 課題意識を持つ	1 課題意識をもつ。 ○休憩時間に1年生と遊ぶ約束をしていたところに、友だちから大事なお願いをされたという具体的な場面を想定する。	○1年生と大休憩に遊ぶ約束をしていました。ところが、仲良しの友達に大事なお願いをされました。みんなはどうしますか。 ・1年生との約束を守る。 ・友達を助ける。 ・迷って決められない。	・学校生活で起こりそうな葛藤場面を提示し、自分だったらどうするか考えさせ、課題意識をもたせる。
決断に迷った時、何を大切にしたらよいだろう。			
展開前段 (25分) 学びを深める	2 教材「手品師」を読んで話し合う。 ○大劇場を夢見て腕をみがいていた手品師の気持ちを考える。 ○男の子と約束した時の手品師の思いを考える。 ○手品師の葛藤について考える。 〈タブレット端末使用〉 個人思考 ↓ 全体交流	○手品師は、どんな思いで腕をみがいていたのでしょうか。 ・大劇場のステージに立ちたい。 ・大劇場で華やかに手品をしたい。 ・有名になりたい。 ○手品師は、どんな思いで男の子に「きっと来るよ。」と約束したのでしょうか。 ・男の子に喜んでもらいたい。 ・もっと元気にしてあげたい。 ・自分の手品で喜んでくれる人がいてうれしい。 ・やっと自分を認めてくれる人がいた。 ○あなたが手品師だったら、どちらに行きますか。それは、どんな思いからですか。 大劇場に行く ・この暮らしから抜け出したい。 ・軽い約束だし、破ってもそこまで気にしないのでは。 ・自分の夢をかなえたい。	・T Tで教材を役割読みしながら登場人物の状況を確認したり、分割提示したりして、登場人物の心情を理解しやすくする。 ・児童の夢にもふれながら大劇場に出るとい夢に向かって一生懸命練習している手品師の気持ちに共感させる。 ・自分と同じ境遇に感じる男の子を思いやる気持ちだけでなく、補助発問などを行い、自分を認めてもらった喜びにも気付くことができるようにする。 ・児童の迷う気持ちを認め、自分が手品師だったらどちらを選ぶかタブレットで意思表示をし、自分の考えをもつことで、主体的に考えることができるようにする。 ・それぞれの立場から意見や反論を出し合わせるこ

	<p>○男の子のもとへ行くことを選んだ手品師が大切にしたい思いについて考える。</p>	<p>男の子のもとへ行く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約束したのだから守らないといけない。 ・男の子が悲しむかもしれない。 ・自分の手品を待っている男の子のために演じたい。 ・有名になるのではなく、だれかを笑顔にすることが自分の夢。 <p>◎手品師は決断する時にどんな思いを大切にしたいのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男の子との約束を守りたいという思い。 ・男の子を笑顔にしたいという思い。 ・男の子を喜ばせたいという思い。 ・自分を待っているたった一人のお客様を大切にしたいという思い。 ・自分の心に正直に行動することで後悔したくないという思い。 	<p>とで、手品師の葛藤について深め、どちらを選んでもそれぞれに価値があることに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人思考で自分の考えをノートに書き、その後ペア、全体交流することで本時のねらいに迫っていく。 ・手品師が考えたのは男の子の気持ちだけなのか、その選択に後悔はなかったのかを問いかけ、男の子への思いを大事にしたいと考えた手品師の思いや生き方についてより深く考えさせる。 <p>☆自分自身に誠実に行動した手品師の思いに気付いている。(ノート)(発言)</p>
<p>展開後段 (2分)</p>	<p>3 本時のまとめをする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・手品師の生き方について考え、児童の考えと「誠実」という言葉とを結びつける。
<p>終末 (13分)</p> <p>学習したことを振り返る</p>	<p>4 今までの自分を振り返る。</p> <p>5 教師の説話を聞く。</p>	<p>○今日の学習や今までの生活を振り返って考えたこと、これからに生かしたいことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習い事を辞めようか悩んでいたけど、頑張りたい気持ちもあるから、もう少しじっくりと考えて、後悔しないようにしたい。 ・友達と意見が分かれた時に合わせてしまうことが多かったけど、本当にそれでいいのか自分に問いかけてみようと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳日記をもとに考えさせ、自分の生活を振り返ることができるようにする。 <p>☆授業を通して考えたことについて自分の生き方を見つめながら考えている。(発言)(ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の説話により、誠実に生きることの良さを感じさせ、余韻をもって終わる。

